

『時事直言』 No.1263 2018年7月31日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3956-1313



時事評論家 増田俊男

「日銀は誰のものか」

今モナコから L.A.に着いた。丁度日銀の政策決定会合が終わり、先週私が予想した通り従来の国債利回り固定化の為の市場介入に変動幅を持たずことになった。

2013年4月4日以来の大規模量的緩和、2016年からの質的緩和の効果は全くなく、結果は債券市場の機能低下、金融機関の利益圧縮という副作用だけが残った。日銀はいくら何でも現状維持は出来ないのだから仕方なく「お茶を濁した」のである。

FRBの資産正常化(2015年末から)と ECB 出口(2019年から)による資金不足を補うのが日銀の任務。(日本の物価など関係ない)

日銀の掲げる表の政策の裏には FRB 日本出張所としての責任がある。

現在 FRB は世界中からアメリカへの資金一極集中の為ドル高政策だが中間選挙直前(10月)からドル安政策に変わり、そこから円高、株安になる。

下記は昨年同時期モナコのレッド・クロス晩餐会直前に送ったコメント

「時事直言」2017年7月25日 No.1180>

日銀は誰のものか

「日銀は誰のものか」は私が尊敬する中原伸之先生が中央公論新社から2006年5月10日に出版された当時のベストセラーである。中原伸之先生は何事も「一流好み」で経歴(東大、ハーバード、東燃ゼネラル石油株式会社社長、日銀政策委員会審議委員、政府金融再生プログラムチームなど)はもとより安倍総理のご意見番としても知られるなど並大抵の見識ではない。

私は隔月経済セミナーを開催しているが、中原先生は毎回ご参加下さり「増田君、それは違う」などと正して下さい。

中原先生に見習って「一流」を追っているうちにとうとう米大統領のキングメーカーや世界の政治・経済の流れを変える勢力の仲間入りが出来た。

おかげでワシントン DC/ニューヨークとモナコに年間半分以上滞在するようになった。(現在もモナコに向かっている)

さて中原先生の著書に書かれているように日銀は多くの問題点を抱えている。

だから先生は日銀改革を求め続けてこられ、改正日銀法も出来たが、「仏作って魂入れず」に終わっている。

2013年4月4日黒田総裁は鳴り物入りで「異次元金融緩和政策」を発表、物価目標2%は2年後(2015年4月)に達成出来ると自信満々であったが、先送りを繰り返し今回(7月)の会合で又もや2019年まで延ばした。2019年と言えば、安倍総理が「次回は決して延期しない」と言ったにもかかわらず2016年11月消費税増率を2年半延期した年に重なる。「駆け込み需要」でも期待しているのだろうか。

記者会見での黒田総裁の苦悩に満ちた顔が日銀の機能不全を物語っている。

繰り返しになるが、私は黒田総裁が異次元金融緩和を発表した直後、日本のデフレ化現象は日本経済の構造が原因だから「小手先」の金融政策では解決出来ない。基幹産業が輸出依存型の日本経済は基本的に国内の(モノとサービスの)需給関係は供給過剰になる。したがってデフレ解消には内需拡大政策と大企業のリストラ以外にない。金融緩和ではなくリストラ奨励制度(補助金など)を求めなくてはならないと述べた。

日本経済の為に全く機能しない日銀は誰のものだろうか。

その為にはアメリカのFRBと日銀の違いを知る必要がある。

FRBは国際基軸通貨(ドル)を発行し世界を縄張とする大親分。

日銀はFRBの縄張りの日本を担当する子分である。

だから日銀が親分の健康(利上げ、資産縮小=正常化)の為に犠牲になるのは当然なのである。FRBの引き締め政策と資産縮小で市場が冷え込まないように「異常緩和」の炎を燃やし続けなくてはならないのである。

さて、「日銀は誰のものか」、それはFRBのものである！

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダU.S.リサーチジャパン(株)Tel: 03-3956-8888、HP: www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 7月31日(火) No. 821 今日の日銀政策決定会合に世界が注目
- 7月20日(金) No. 820 金価格が下げ続けるわけ
- 7月18日(水) No. 819 乱高下相場
- 7月9日(月) No. 818 株価が下がるはずが上がるわけ

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社(FAX: 03-3956-1313)までお知らせ下さい。

1ヶ月わずか約 ¥1,035

※契約は年間契約となります。

増田俊男の

「目からウロコのインターネット・セミナー！」が “モノ言う” !

逃してはならない世界情報を即座に伝えます。
先読みに勝るものなし！
誰よりも一歩先を歩む。
それが成功と安心の支えです。



【配信】不定期（1回10～15分程度、月4回程度）

【放送予告】 e-mail

【視聴料】 ¥11,500（税抜）⇒ ¥12,420（税込）

【視聴期間】 申込月の翌月から12ヶ月

例）当月中にお手続き完了の場合当月末まで無料にて視聴可能になり、
翌月より12ヶ月間の視聴期間となります。

【視聴方法】 パソコンの場合、指定のURLを1クリックですぐ視聴可能。

詳しくは弊社HP（<http://movie.masuda-toshio.com/>）をご覧ください。

※視聴にはパスワードが必要になります。手続き完了後にメールにてご案内させていただきます。

メールアドレスのご記入は明確にお願いします。特にハイフンとアンダーバーは明確にご記入下さい。

フリガナ

名前 振込名義

〒 -

住所（会社・自宅）

会社名

TEL FAX

e-mail

ご利用予定機器 パソコン・スマートフォン（iPhone・アンドロイド）・タブレット（iPad・アンドロイド）・その他
（該当するものに○で囲んでください。）

【お振込先】みずほ銀行 池袋西口支店 当座 0106544 マスダユーエスリサーチジャパン（カ

【視聴料】 ¥12,420-（税込み）

※振り込み手数料はお客様負担となります。

●お振込み後のキャンセルは出来ませんので予めご了承下さい。

FAX 送信先：03-3956-1313

マスダ U.S. リサーチ ジャパン 株式会社

info@chokugen.com